



篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和5年1月31日

2月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 Tel.045-401-9532 fax045-431-9538
横浜市立篠原小学校 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinohara/>

登下校の見守り

校長 松久保 伸子

児童の登校時に、正門・松並門・富士門付近で登校指導を行うことがあります。にこにこしている子がいると嬉しくなりますし、いつもと比べて元気のない子がいれば担任に連絡します。積極的に声をかけてくれて「昨日ね」とお話をしてくれる子もいます。そんな日常の中で、こんな言葉を使わざるを得ないときもあります。「白い線の内側を歩いてね。」「走ると危ないよ。」「広がって歩かないでね。」私も小学生の時に走って登校してしまった記憶があります。子どもの特徴でもあるのでしょうか。しかし、だからと言ってこれを見過ごしてしまい、交通事故にあってしまったら、取り返しのつかないことになってしまいます。子どもたちへの注意喚起だけでなく、どうしても大人の力を借りて、子どもたちの安全を守っていく活動が必要になっています。



そここでご活躍いただいているのが地域の自治会の皆様です。一部の自治会では、道路横断指導やパトロール（交通安全と防犯を兼ねている地域が多いようです）に出てくださいっています。またPTA校外委員会が活動の一部として学援隊を結成し、本校の保護者様全員が旗振りやパトロールに参加していただいています。きっと、きっとこれらの活動によって守られてきた命がたくさんあるのでしょうか。それは学援隊の報告書である「活動日誌」を読ませていただくのとわかります。危なかった事例を記載していただいていることが何件もあるのです。地域の皆様のおかげによって、篠原小学校の子どもたちの命が守られているのです。



そんな皆様をぜひ子どもたちに紹介したいと昨年度から計画を立てていましたが、感染症拡大防止の観点から、実施できずにおりました。今年度は何としても6年生が卒業する前に実施したいと思い、朝会にて、自治会・学援隊の代表の方に6年生からの手紙をお渡しする予定であります。子どもたちには、自分たちの命を守ってくださっている地域の方がいる、と知ってもらう良いチャンスです。そして地域の方を見かけることで、路側帯の内側を広がらず走らないで歩行することを思い出してほしいのです。横断歩道や踏切では、車や電車の動きを自分で確認して、安全に渡ってほしいのです。地域の皆様、子どもたちの命を守るため、どうぞ引き続き力をお貸しください。そして保護者様には、繰り返し繰り返し、道路の歩き方や横断歩道・踏切の渡り方を子どもたちに教えていただきたいのです。どうぞお願いいたします。